

vol.6

弘法大師伝説

ゆかりの史跡を歩く



(2) 真豊院

弘法大師が像を安置し創建したと伝えられる寺院。この寺がもとで近辺の村の名を北大師と呼ぶようになったと伝えられる。

(3) 弘法のすずり田

地表が黒色のため、苦家の大家であった弘法大師が毎日墨を洗った場所と伝えられる水田。



(4) 深向院

弘法大師が増穂町の治平に創建した真言宗寺院と伝えられ、鎌倉初期に石和五郎信光が再興して信光寺となり、天文年間伴宗の寺院として宮沢の地に移されたと言われる。
积迦如来座像 保指定文化財



(5) 独鉢ノ井戸

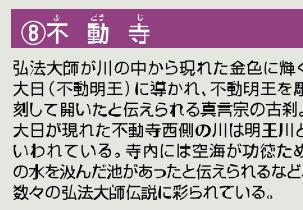
弘法大師が独鉢杵で地面を突いたところ、湧き出たと伝えられる清水。日照りが続いても枯れない井戸として利用されてきた。



弘法大師創建の伝説が残る寺院。武田信玄も深く信仰したと伝えられる。



八幡寺を弘法大師が建てたとき、若宮八幡の化身である虫が助けた言い伝えが残されている。



弘法大師が川の中から現れた金色に輝く大日（不動明王）に導かれ、不動明王を彫刻して開いたと伝えられる真言宗の古刹。大日が現れた不動寺西側の川は明王川といわれている。寺内には空海が功徳ための水を汲んだ池があったと伝えられるなど、数々の弘法大師伝説に彩られている。



3月に行われる大護摩供

